

シーサイドももち開発計画公募

審 査 報 告 書

平成17年12月

シーサイドももち土地処分委員会

平成17年12月5日

福岡市長 山崎 広太郎 様

シーサイドももち土地処分委員会
委員長 佐藤 優

「シーサイドももち開発計画公募」審査結果について（答申）

当委員会は、シーサイドももち開発計画公募要綱（以下「公募要綱」という。）に基づき応募提案された事業計画書（提案趣意書，施設等概要書，施設等利用計画書，建築基本計画書，経営計画書）及び事業者説明書について、「公募要綱」に照らし，その内容を総合的に審査した結果，下記の応募者の提案を当選案とし答申いたします。

記

1 応募者

代表事業者：学校法人高木学園

構成事業者：医療法人社団高邦会

2 付帯意見

（1）対象用途について

教育及び福祉関連施設の機能を支援する施設として計画されている病院については，地域の医療施設との連携，共生に十分配慮する必要がある。

（2）建築計画について

今後，実施計画を策定するにあたり，関係機関等と十分に協議を行い，南側の住宅地からの景観の軸線や緑道との連携を図り，建物の配置や意匠等，周辺地域への一層の配慮を行う必要がある。

委員

(順不同・敬称略)

所属・役職等		氏名
学識経験者	九州大学大学院芸術工学研究院 教授	佐藤 優
	九州大学大学院人間環境学研究院 助教授	出口 敦
	福岡県立大学人間社会学部 教授	鬼崎 信好
	株式会社松下美紀照明設計事務所 代表取締役	松下 美紀
地元代表	百道浜校区自治連合会 副会長	久恒 喜成
	百道浜校区自治連合会 副会長	梶山 美知子
市職員	港湾局 局長	中島 紹男
	総務企画局 企画調整部長	貞刈 厚仁
	財政局 財政部長	菅原 泰治
	保健福祉局 総務部長	松田 潤嗣
	早良区役所 地域支援部長	山中 浩一
	教育委員会 総務部長	岡本 茂

Ⅲ 審査概要

■ 応募者提案内容説明

応募者より「シーサイドももち開発事業計画書」について説明を受け、その後、質疑応答を行った。

《説明要旨》

ももち地区のすぐれた環境と利便性を活かして、以下の施設を計画。

- ①保健・医療・福祉の各分野において高度な専門性を備えた専門職を養成する教育施設として、大学院・医療福祉系専門学校を建設する。
- ②医療従事者の育成の身近な実習の場として、また、本格化する高齢化社会に向けた地域の福祉水準の向上に貢献する福祉施設として、在宅総合サービス事業を行う施設を建設する。
- ③上記の教育及び福祉施設の機能を支援する医療福祉の専門職の教育にとって欠かせない臨床実習教育の場であり、また福祉施設と連携して、高齢者の健康づくりに寄与する施設として、病院を建設する。

これらの教育、福祉、保健・医療の機能が補完しあい、相乗効果を発揮することにより、ももち地区の活性化、環境保全ひいては、まちづくりに貢献していきたい。

また、各施設の一部（図書館、グラウンド及び体育館）を地域交流スペースとして提供するとともに、地域交流ゾーンの設置や健康教室の開催などを行い、豊かな地域社会づくりに貢献することを目指したい。

《質疑応答》

〈委員会〉 学校、福祉施設及び病院の日常的な動線上のつながりについての考え方は。

〈応募者〉 真ん中に遊歩道を配置し施設が分かれているが、動線の考え方は色々あり、今後、円滑な連携が図られるよう検討してまいりたい。

〈委員会〉 総合設計制度を活用しない場合のケースの検討は。

〈応募者〉 教育及び福祉施設と連携し支援する施設として病院を計画しており、これを満足するため、総合設計制度の活用が必要と考えている。

〈委員会〉 ももち地区は医療の環境が整っている。現存のクリニックゾーンとのかかわりはどのように考えておられるか。病院の規模が大きすぎるように思うが。

〈応募者〉 地元の医療施設とは、ネットワークを構築し、病院と医療施設が連携することにより良好な関係を築けるものと考えている。

病院の規模については、教育及び福祉施設と連携し支援する施設として、必要な規模と考えている。

〈委員会〉 リハビリテーションが中心の病院と考えてよいのか。

〈応募者〉 既存の病院の移転を考えており、基本的にはリハビリテーションを中心として、ニーズに合わせた診療内容を検討していきたい。

〈委員会〉 南側のマンションからすれば、大きな壁面が建つことになるが、配置計画や建物の規模などは、流動的なものと考えて良いのか。

〈応募者〉 規模は、この程度必要と考えているが、今後、建物計画については実施設計段階で関係機関等と協議するなかで、変更はあるものと考えている。

〈委員会〉 公開空地の配置や管理運営の方法などは、十分な検討をお願いしたい。

〈応募者〉 今後、一生懸命に検討してまいりたい。

〈委員会〉 体育館やグラウンドなどを地域開放する場合、地域との窓口など具体的なシステムは考えておられるか。

〈応募者〉 地域に対する窓口や担当者を決め、円滑に行えるよう検討したい。

〈委員会〉 小学生などの職業体験の場として活用の可能性は。

〈応募者〉 現在も既存の施設で、中学生の受け入れなども行っており、医療福祉の将来を担う人材の育成のためにも、ぜひお願いしたい。